

腰椎すべり症に対する Mini-Open TLIF および XLIF の術後経過、治療成績の比較検討に関する研究

1. 研究の対象

2013年11月から2016年10月までに第4腰椎すべり症と診断され当院にて Mini-Open TLIF あるいは XLIF を行った方。

2. 研究目的・方法

腰椎すべり症に対する Mini-Open TLIF および XLIF は両術式とも MIS^t 手技であるが、術後経過、治療成績について比較検討し今後の医学の発展に寄与することを目的とする。当科にて第4腰椎すべり症と診断され当院にて Mini-Open TLIF あるいは XLIF を行った患者を対象とする。Mini-Open TLIF を施行した群を TLIF 群とし、XLIF を施行した群を XLIF 群とする。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

年齢、手術時間、術中出血量、入院期間、歩行獲得までの日数、JOABPEQ、多裂筋および大腰筋の面積、輝度 等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

京都中部総合医療センター 患者相談係

研究責任者：

京都中部総合医療センター リハビリテーション科 川辺 康司

-----以上